

2023年10月17日

## 2022年度のスチール缶リサイクル率は92.7%

- 2011年度以降12年連続で90%以上を達成しました。
- 2021年度から始まり2025年度を目標年度とする自主行動計画2025のリサイクルの数値目標「93%以上維持」に対して0.3ポイントの未達となりました。

### ● 国内での資源循環システムが確立している、スチール缶のリサイクル

- 飲料用スチール缶の分別・再資源化が社会に浸透しており、97%以上※の自治体で分別収集の対象になっています。(※全国815市区の調査結果)
- スチール缶スクラップは、ティンフリー・スチール化の進展等により高品質のスクラップとして高い評価を受け、全国の鉄鋼メーカーで安定的に使用されています。
- 国内で発生するスチール缶スクラップは、国内で製鉄原料として再資源化されており、輸出に回っているものは基本的にありません。

### ● カーボンニュートラルに向けて果たすスチール缶リサイクルの役割

- 2022年度のスチール缶再資源化量は約336千トンでした。  
1トンの鉄スクラップをリサイクルすることによって、1.39トン※の二酸化炭素排出を削減できます。 ※(一社)日本鉄リサイクル工業会 HP より
- 2022年度のスチール缶のリサイクルによって、約467千トンの二酸化炭素排出削減になっています。

### ● 高付加価値化・高品質化が進展している、スチール缶のリサイクル

- スチール缶の一部が、全国の鉄スクラップ取扱事業者において高付加価値化のためシュレッター処理され、スチール缶スクラップ(Cプレス・Cシュレッター)以外の規格で鉄鋼メーカーに受け入れられていることから、2009年度より、この一部を調査して再資源化重量に加えています。

.....  
<本件に関するお問い合わせ先>

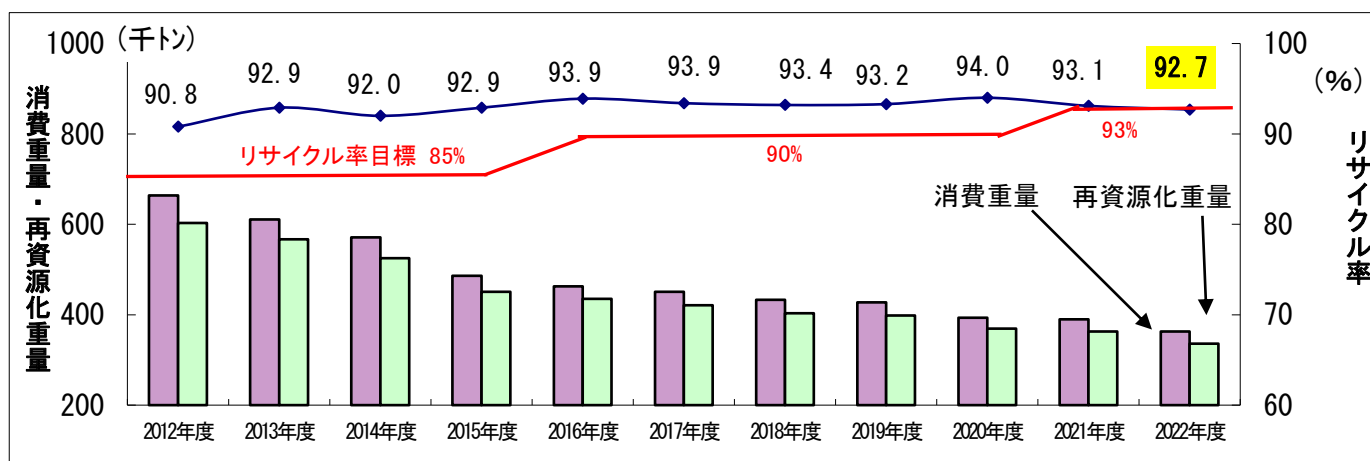
スチール缶リサイクル協会 担当: 事務局 外蘭(ほかぞの)

電話: 03-5577-2241 FAX: 03-5577-2242

E-mail アドレス: recycle@steelcan.jp

## 2022年度のスチール缶リサイクル率は92.7%

スチール缶消費重量 362,606 トンに対して再資源化重量 336,098 トンでした。



|             | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 消費重量(千トン)   | 664    | 611    | 571    | 486    | 463    | 451    | 433    | 427    | 393    | 390    | 363    |
| 再資源化重量(千トン) | 603    | 567    | 525    | 451    | 435    | 422    | 403    | 398    | 369    | 363    | 336    |
| リサイクル率(%)   | 90.8   | 92.9   | 92.0   | 92.9   | 93.9   | 93.4   | 93.2   | 93.3   | 94.0   | 93.1   | 92.7   |

### スチール缶リサイクル率の算出方法

スチール缶が販売されてから回収再利用されるまで 3 ヶ月かかると見做して、消費重量は 2022 年 1～12 月、回収・再資源化重量は 2022 年 4 月～2023 年 3 月のデータにより算出しました。

$$\frac{\text{回収・再資源化重量}}{\text{消費重量}} = 92.7\%$$

$$\text{消費重量} = \text{空缶出荷量} - \text{缶詰輸出量} + \text{缶詰輸入量} + \text{空缶輸入量}$$

$$\text{回収・再資源化重量} = \text{鉄鋼メーカー等購入量} - (\text{アルミ蓋重量} + \text{異物})$$

全国の電炉メーカー・高炉メーカー・鋳物メーカー・ペレットメーカー等にスチール缶スクラップ(Cプレス及びCシュレッダー)利用量に関するアンケート調査を実施、その回答を集計。

これに、全国の鉄スクラップ取扱事業者において、スチール缶スクラップがシュレッダー処理後、Cシュレッダー以外の規格で再資源化し、製鋼原料として売却した量を集計(調査により把握できた量のみ計上)。

上記集計値からスチール缶スクラップに含まれている飲料缶用アルミ蓋の重量及び水分等の異物を除いて算出。

.....  
<本件に関するお問い合わせ先>

スチール缶リサイクル協会 担当: 事務局 外蘭(ほかぞの)

電話:03-5577-2241 FAX:03-5577-2242

E-mail アドレス:recycle@steelcan.jp